

GCL NEWSLETTER 第1号 (2013.10)

シリコンバレー視察報告 リーディング大学院交流

GCL ランチタイム第1回・第2回
2013 年度冬学期 GCL 講義紹介



■グローバルクリエイティブフォーラム 2013 視察団 シリコンバレー視察報告

9月8日～16日、学生3人がJUAS主催の「グローバルクリエイティブフォーラム 2013 視察団」に参加し、企業の社長・部長と帯同してシリコンバレーを視察しました。

参加した朱妍さん（学際情報学府 M2）、山元浩平さん（情報理工 M1）、田中義丸さん（情報理工 M1）に、各訪問先に関するレポートを作成してもらいました。



スタンフォード大学の邦人駐在研究員の方々からは、日米比較による相違点をまとめていただき、日本は独自のホスピタリティ精神などの強みを残しながら、欧米人的問題解決思考を身に付けることや、米国の西海岸と東海岸の対立構図のように国内地域間での競争意識の促進など、広い視野での助言をいただきました。また、米国に倣い、エンジニアの育成と社会的地位の向上に努め、ハッカソンなどエンジニアが楽しく過ごせる文化を形成していくべきだという指摘も受けました。



intel 社においては、未来を予測する上では、社会学と科学技術に基づく検証と SF 小説を利用した思考の加速を核に、人々にとって良い未来を予測する視点を持つことが、国家や大企業などの大きな組織の意志決定で重要であるという未来予測の方法論の話が印象的でした。

CISCO 社からは大きな組織で業務改善とイノベーションの両方を成功させるために、ICT ツールの活用や少人数チームの編成・連携によりコラボレーションを実現する手法について学びました。

Net Service Venture と NS Solutions では、最近のスタートアップの動向として、リーンスタートアップやクラウドファンディングといった、リスクが小さいやり方にトレンドが集まっており、また、スーパーエンジェル投資家から大手ベンチャーキャピタルの一連の存在がそれらを事業規模の拡大に応じて継続的に支援するシステムがあり、そのシステムの上に意味のある失敗を受け入れる文化が確立されていることがシリコンバレーの強さであるという話を伺いました。





■ 第一回 リーディングプログラム学生連携プロジェクト

8月23・24日、GCLコース生と、京都大学デザイン学大学院連携プログラム（以下CGPD）予科生との交流を目的とした、第一回リーディングプログラム学生連携プロジェクトが行われました。

企画者の米田佳祐さん（工学系研究科M1）に、当日の様子などのお話を伺いました。

◆ GCL を続けるか、就職するか、高校の友達に相談したのがきっかけ

東大と京大のリーディング大学院の共同のプロジェクトという大きな企画がどのようにして企画が始まったのか。きっかけは、米田さんが友達に悩みを相談したことだったそうです。

「GCLに入ってみて、このままGCLを続けて博士課程まで進学するか、あるいは就職するか、迷っていたんです。そんなときに、高校の友達に相談してみると、その友達も京都大学のCGPDに入っていました。CGPDの話を知っていると、CGPD予科生で合宿に行ったと聞き、自分たちでもやりたい、せっくな

らGCLとCGPD共同でやったら楽しいんじゃないか、と話が盛り上がりました」

「GCL内で企画をたてたら、どういうふうに進めることができるか、試してみたかったというもあります。2年生になると、GCLでワークショップを企画するというのが必修であるので、このまま進学するかどうか決める前に、一度やってみようと思って、企画をしてみました」

こうして始まった連携プロジェクトですが、開催まで様々な苦労があったようです。

◆ 思ったより大変だな、という感触

まず、日程を決めるにも、様々な人の都合や意見を調整しなくてはなりません。

「CGPDでは予科生がコースを続けるか決めるのが夏だったので、8月中に開催して、どうするか決める判断材料にしたいと。じゃあ8月頭にしようとしたら、京大の方で院試があって、先生に手伝ってもらえない。8月末はというと、情報理工の院試の時期で、東大の

先生が手伝えない。でも、特任准教授の先生なら、院試には関われないので、手伝ってもらえる、ということで、田中文英先生にお願いをしました。企画の二日目、8月24日からアメリカに出張の予定だったので、無理を言って、監督として参加してもらいました」

それ以外にも、予算をつけてもらうための手続きで詳細な企画書を作成するなど、初めての試みであったために、分からないことも多く、大変だったそうです。

◆ 「東大生は京大のことを馬鹿にしてそう」（笑）

また、大学との調整と同時に、プロジェクト自体のコンテンツも時間をかけてしっかり準備をしたそうです。

「まず、お互いが打ち解けるためのアイスブレイクとして、東大、京大の学生がお互いについて抱いているイメージを挙げてもらい、実際にそれがあてはまるかどうか、分類してもらい、というものを行いました。京大生からは『東大生は京大のことを馬鹿にしてそう』というものが出たのに対し、東大生からは実際に『京大はナンバー2』というものが出たり（笑）、率直なイメージを言い合いながらも楽しく、結構仲良くなりましたね」

ワークショップ全体について、GCLのRAに相談

に乗ってもらい、このアイスブレイクも次のワークショップへの導入を考えて決めたとのこと。

「次に、もし東大京大共同で学園祭を開いたとしたら、そこで1番売れる模擬店を作れ、というワークショップをしました。お互いの理解が目的だったので、アイスブレイクで出たイメージから、こういうことをしたら、こういう人が来てくれるんじゃないか、とか参考にしながらアイデアを考えてもらいました。また、発表は、粘土で模型を作って行いました。実際に手を動かして、形にしてみると、ここはもっとこうしたほうがいいんじゃないか、というように新しいアイデアが出てくるからです。始めはどのグループも、女の子が少ないから、出会い系のカフェ、みたいな単純なものばかりでしたが、最後の発表では、他の模擬店の運営を助ける、といったものから、花火を準備して寄付を募る、といったものまで、様々なアイデアが出て、とても面白かったですね。」

こうして、GCLコース生とCGPD予科生の交流は盛り上がり、第一回リーディングプログラム学生連携プロジェクトは無事成功に終わりました。

これから、大阪大学のリーディング大学院プログラムとも連携して、交流を続けていくなどを考えているそうなので、また次回が楽しみです。





(上) 第1回ランチタイムの様子
(右) 第2回ランチタイムの様子



情報理工学系研究科 M1)」といった感想が寄せられました。

■ GCL ランチタイム

GCLの担当教員とコース所属学生の交流促進を目的とした昼食会「GCL ランチタイム」がスタートしました！今回は8/27(火)、9/17(火)に行われた第1回、第2回の模様をお伝えします。

●第1回 浅見 徹 教授 (情報理工学系研究科 電子情報学専攻/プロジェクトインキュベーション機構長)

8/27 12:00-13:00

浅見徹教授にお越しいただきました。会は終始和やかな雰囲気の中で行われ、GCLのインターンシップや、国内外の産業・学術について意見が交わされました。

参加した学生の皆さんからは、「GCL担当の先生方とは普段なかなかお話しできる機会がないので、とてもよい機会になりました。インターンシップについての具体的な話や世界で行われている最先端の研究の話を知ることができ、自分のやりたいことについて考えるよいきっかけになりました。(澁田朋未さん・医学系研究科 M1)」「インターン制度について聞いて知るいい機会であったと同時に、インターン先としてアメリカやヨーロッパだけでなく、インドや南アメリカといった幅広い選択肢を考えさせるきっかけとなる昼食会でした。といっても重苦しい雰囲気はなく、『インドで生きる耐性をつけるにはペットを飼うといい』といった話題が出るような和やかな雰囲気と感じました。(笹渕一宏さん・学際情報学府 M1)」「どのようにインターン先を決めるのか、その後の博士課程で行うプロジェクトへのつながり方など、具体的な話を聞いたことは大変良かったです。GCLは初年度で前例がなく、何を行っていくのか具体的には見えていない部分があるので、このように直接お話を聞かせて頂く機会はとても重要だと感じました。(小林尚生さん・

●第2回 國吉 康夫 教授 (情報理工学系研究科 知能機械情報学専攻/同研究科ソーシャルICT研究センター・センター長)

9/17 12:00-13:00

GCLプログラム・コーディネーターの國吉康夫教授にお越しいただきました。会では、これからの日本社会やGCLコース生へかける期待などについて活発な議論が交わされました。

参加した学生の皆さんからは、「GCLに対する國吉先生の熱い想いを直接聞くことができると同時に、学生側からGCLに対する要望や疑問をプログラム・コーディネーターにストレートにぶつけることのできるよい機会となりました。日本に残って何かを返さないといけないという國吉先生が感じている使命感を知ることができました。(笹渕一宏さん・学際情報学府 M1)」「今回はGCL担当の先生方がコース生に対してどんな将来を期待しているかという生の声を聞かせていただくのにとっても良い機会でした。ICTでイノベーションを起こすリーダーを育てるというプログラムの趣旨は変わりませんが、そのような結果を出せる専門知識を持ったリーダーの社会的評価向上を目指し、そういった人材の輩出を技術者が高い意識を持ち続けられるように社会を作り変えるきっかけとしたいという話が印象的でした。(田中義丸さん・情報理工学系研究科 M1)」といった感想が寄せられました。

●次回 GCL ランチタイム告知

次回は、廣瀬通孝教授をお迎えます。

コース生の方は、別途配信された告知のメールをぜひお確かめください！

■ 授業告知

●グローバル・クリエイティブリーダー講義Ⅶ(The 官僚) --- この国を、社会・経済をデザインする ---
時限：金曜 6限 (18:30-20:00)

場所：工 2号館 246 講義室

講師：総務省 鈴木茂樹 & 経済産業省 松永明 及び各省庁を代表するリーダーによるオムニバス講義
テーマ：日本をデザインする、経済・社会をデザインする。

趣旨：ソーシャルICT技術の可能性・将来動向を考える大学院生等に対して、日本の将来、社会・経済の在り方をデザインすることの必要性と可能性を伝えることにより、日本及び経済・社会をデザインすることにより自ら取り組むことを通じた新たな能力発揮の分野を開拓する切欠とすること。

第1回 10/4 インTRODクシヨン

第2回 10/11 総務省 大臣官房総括審議官 鈴木茂樹

第3回 10/18 経済産業省 中小企業庁 事業環境部長 松永明

第4回 10/25 総務省 情報通信戦略局長 阪本泰男

第5回 11/1 経済産業省 中野剛志(現在NEDO出向中)

第6回以降、国土交通省、農林水産省、環境省、財務省、防衛省、厚生労働省などの講義を予定しています。

なお、担当講師は都合により変更することがありますので、予めご了承ください。

●グローバル・クリエイティブリーダー講義Ⅷ(トップリーダー論)

時限：火曜 6限 (18:30-20:00)

場所：工学部 2号館 3F 電気系会議室 1AB

主担当教員：岩野和生・大力修

GCLの目指すリーダーとは何か、そのリーダーを生み出すためには、GCLはどうあるべきかを受講生と講師で共に考えます。まず意思決定の方法論を学び、さらに、社会の抱える問題とITの関連を議論します。ドクターコースで行う社会イノベーションプロジェクトのための企画の訓練としても活用してほしい講義です。GCL第1期生と講師による実験であり、内容は話し合いで、柔軟に変更します。

第1回 10/1 リーダーとは？社会貢献とは？ <議論>

第2回 10/8 意思決定の方法論 I <講義 + 議論>

第3回 10/22 ITの進展 - 社会とIT I <講義 + 議論>

第4回 10/29 ITの進展 - 社会とIT II <講義 + 議論>

第5回 11/12 意思決定の方法論 II <演習>

第6回 11/19 プロジェクトを企画する(仮題：ITによる女性戦力活用) <講義 + 議論>

第7回 11/26 プロジェクトを企画する(仮題：ITによる女性戦力活用) <議論 + 演習>

第8回 12/3 プロジェクトを企画する(仮題：ITによる女性戦力活用) <議論 + 演習>

第9回 12/10 機械との競争 I <講義 + 議論>

第10回 12/17 機械との競争 II <議論 + 演習>

第11回 1/7 知のコンピューティング <講義 + 議論>

第12回 1/14 プロジェクト遂行力 <講義 + 議論>

第13回 1/21 新しい波 I <講義 + 議論>

第14回 1/28 新しい波 II <講義 + 議論>

第15回 2/4 GCLはどうあるべきか？まとめ <議論>

上記のうち1回を外部講師による講演と議論で置き換える可能性があります。

実際の講義の様子は、逐次Facebookページ(<http://ja-jp.facebook.com/UTokyo.GCL>)にアップされる予定です。そちらも併せてご覧ください。

GCLコース生は、上記ページをこまめに確認するようにしてください。

■ イベント告知

以下のイベントが開催されます。

詳細や最新の情報については公式ウェブサイト (<http://www.gcl.i.u-tokyo.ac.jp/>) をご覧ください。

● 2013/10/15・16 GCL インターンシップ・ガイダンス

日時：10/15 (火) 16:40-18:10 または
10/16 (水) 14:50-16:20

会場：工学部3号館 1F 電気系セミナー室2 & 3

2014年に予定される6カ月間に渡るGCLインターンシップに向けた手順と、今後の予定に関してお話しいたします。

どちらか都合のつく日に参加してください。

新しい企画ということで、新築された工学部3号館で行うことにしました。奮ってご参加・討論していただけると幸いです。

● 2013/10/16 Global Design Brown Bag Seminar : Google Tech Talks

日時：10/16 (水) 12:00-13:00

場所：工学部2号館 3F 電気系会議室1 AB

講演タイトル：Go code that grows with grace

講演者：Mr. Andrew Gerrand

● 2013/10/24 Global Design Seminar: 移動通信ビジネス動向～エリクソンの事例より～

日時：10/24 (木) 5時限目 (16:40-18:10)

場所：工学部2号館 3F 電気系会議室1 AB

タイトル：移動通信ビジネス動向～エリクソンの事例より～

講演者：エリクソン・ジャパン チーフ・テクノロジー・オフィサー (CTO) 藤岡雅宣

● 2013/10/28 Global Design Symposium: 「新たな社会情報基盤を目指して～社会情報基盤における個人認証の役割～」

The 1st Social ICT Research Center Symposium

新たな社会情報基盤を目指して

～社会情報基盤における個人認証の役割～

日時：10月28日 (月) 13:30-17:30 (開場 13:00)

場所：東京大学弥生講堂 一条ホール

● 2013/11/06 Global Design Symposium: 「Big Data x Standardization」

Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders (GCL)

Big Data × Standardization

6th November, 13:30-17:10 @ Eng. Bldg.2 Lecture room 241

■ GCL コース生の声

◆ GCL コース生の皆さまへ

こんにちは。情報理工学系研究科の稲葉・岡田研究室所属でGCLコース生M1の田中義丸です。

今回、GCL生の共有スペース「GCLラボ(仮)」の設置が決定いたしました。

GCL生の交流とイノベーション思考の促進を目指しつつ、皆さまの希望を反映させたく、アンケートにご協力いただきたいと思っております。詳細は、メールでの告知をご覧ください。

お忙しいところ、大変お手数をおかけしますが、どうかよろしくお願い申し上げます。

私が今回の企画のとりまとめを担当させていただく経緯として、9月に開催されたGCLランチタイムがきっかけとしてありました。その場で前々から一部のコース生の間で上がっていた、「GCL生の共有スペースが欲しい」という声を現実のものにしたいと、意見を強く主張した結果、実現に至りました。

コース生の皆さまには、GCLプログラムそのものが学生の主体性により、進化させていくべきものという当事者意識を持ち、本企画が動き出したように、積極的に意見を主張し、行動を起こしていただきたいと思います。

編集・発行：

情報理工学系研究科・GCL 広報企画

(森友亮 (情報理工 M2)、後藤昂彦 (情報理工 M1)、金子和正 (工 B3))

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学工学部 8号館 621号室 GCL事務局

E-mail : pr_plan@gcl.i.u-tokyo.ac.jp